



<校訓> 誠・和・進 <学校教育目標> 自立 共生
 <目指す学校像> 心のよりどころとなる世界に誇れる学校

日本の教育についてあらためて思うこと

校長 中村 公一

ここ関東では天候に恵まれ今年も穏やかな正月を迎えました。3年ぶりの行動制限のない年末年始ということもあり、これまで見送られてきた様々なイベントが再開され、街には久しぶりに活気が戻ってきたように感じられます。しかしその一方でコロナウイルス感染症の新規感染者数は一向に減っておらず、気になるのは亡くなる方も依然多いということです。ご自身が持病を抱えていたり、ご家族に難病を患っている方がいる場合には感染への不安がつきないことと思います。私たちの身近なところでもコロナウイルス感染症に罹る人が現れ始めており、これに罹ってしまうことはしょうがないことなのだろうと思います。しかし、上に述べたようなリスクを抱えている方にとっては決して罹るわけにはいかならないという事情もあります。学校においては様々な立場に配慮し慎重な対応をしていきたいと思っています。

コロナウイルス感染症の他にも私たちの生活に大きな影響を及ぼしているものがあります。昨年からの物価高の影響は給食や旅行的行事など学校生活にも及んでおり、今年は物価の高騰が更に進むとの見方もあることから、現在予定している旅行の実施や、給食の提供が順調にできるかどうか心配な面がたくさんあります。昨年の11月号でご説明申し上げたとおり、状況によっては保護者の皆様に協力をお願いしなければならないこともあるかと思いますが何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、昨年は日本で初めての鉄道（新橋・横浜間）が開通してから150年目の年であったのですが鉄道ファンのみならず、新聞やテレビなどでこのことをお知りになった方は多いのではないのでしょうか。しかし鉄道開通と同じ年に日本の近代的な学校制度が始まったことはあまり知られていません。司馬遼太郎の「坂の上の雲」にもあるように、明治の初期から中期にかけての日本には、もう既に海外へ出て我が国の国際的な地位を押し上げようと活躍している人がたくさんいました。日本の近代的な学校制度を定めた学制の発布は明治5年ですが、日本の教育は明治維新から十数年の内に世界で対等に渡り合える人材を生み出すことが出来ていたと言えます。この頃の日本の教育を支えた要因の一つとして、この時期に多くの書物が一斉に日本語に翻訳されたことが挙げられるそうです。多くの名著が日本語に翻訳され近代的な教育が一気に広がったのです。数学を勉強する人なら必ず知っているユークリッド原論が日本語に翻訳されたのもこの頃です。また、翻訳の作業に伴ってそれまでの日本には無かった新しい考え方を理解する必要が生じ、そのための新しい言葉が生まれました。「自由」、「社会」、「個人」、「自然」などの言葉が生まれたのはこの頃だそうです。これらのことは、私が大学院で論文の原文を読むのに苦心していた時にゼミの先生が教えてくれました。「もともと日本人はいろいろな言語や文化を理解するのが得意な民族なんです。」と、私を励ますために先生が冗談で仰ったことが、以外と素直に納得できたものです。教育とは未来を創る子どもたちのためにあります。私達教員は教科書や指導要領にある事だけでなく広い知識を吸収し、広い視野から物事を考える手本を示していかなければいけないと思います。

3つの心構えと2つの習慣をあらためて大切に

生徒の皆さんへ

3つの心構え

- ・自分から考えて行動する
- ・みんなで知恵を出し合う
- ・頭と心で常に深く考える

2つの習慣

- ・出会ったらず挨拶
- ・掃除は心磨き

これらは始業式や終業式、朝会の講話などで機会あるごとに私から生徒の皆さんにお願いしてきたことです。学校ではよく「主体的、対話的で深い学び」と言われるのですが、これからの世界を生き抜いていくために必要とされる心構えなのです。あらためて大切にしてほしいと思います。

3学期の始業式の式辞から「希望と怠け」

人はだれでも「望み」というものを持っています。「お金が欲しい」、「地位や名誉がほしい」、「誰かと仲良くしたい」、「勉強が出来るようになりたい」というような個人的なものがすぐに思いつくと思います。中には「仕事がほしい」、「病気などの苦しみから逃れたい」という切実なものもあるかもしれません。その人が置かれている状況によりいろいろな望みがあるのではないのでしょうか。ですから今の世界状況から考えてみれば「戦争のない平和な世界がほしい」とか「飢えなどで苦しまなくていい社会がほしい」という国際社会全体に向けた人間の尊厳に関わる望みを持っている人も大勢いると思います。このように望みというものは人によって、あるいは状況によってさまざまなものがありますが、その望みの内容が誰のためのものなのか、また何のためのものなのかということに着目して考えてみれば二つの種類の望みがあることがわかります。一つは本人だけでなくその周りの人にとっても好ましいと思われるような望みです。みんなが応援してくれる望みと言ってもいいかもしれません。それに対しもう一つはその反対で、本人やみんなにとって好ましいものとは思われないような望みです。こちらはあまり積極的には応援してはもらえない望みとも言えるでしょう。前者を善い望みという意味を込めて「希望」、後者を悪い望みという意味を含み「欲望」と言うことがあります。たとえばある会社の社長さんが「会社を大きくしたい」という望みを抱いていたとします。その望みを持つ理由が「会社を大きくすることで自分自身が楽をしたり贅沢をしたい」というのであればそれは欲望ですし、「会社を大きくすることでみんなを楽にしてあげたり社会を豊かにしたい」というのであれば、それは希望といえるかもしれません。同じ望みであっても意図している目的により希望の場合と欲望の場合があるのです。

実はこの希望というものは私たちにとってとても大切なものです。善い望みであるからこそ是非実現したいと強く願いますし、それを叶えるためにつらいことでも我慢して頑張れるのです。またそれを見ている周囲の人にも応援したくなるのではないのでしょうか。つまり、希望に向かって人は努力するのです。それに対し欲望だけでは人は努力をしません。結局はずるいことを考えたり怠けてしまうのです。考えてみてください。「希望に溢れる社会」と「欲望に溢れる社会」、どちらがいいかは明らかだと思います。

ところで、頑張らないことや努力しないことを「怠け」といいます。「挨拶をしない」とか「掃除をしない」というように、するべきことをしないのは「怠け」です。しかし「怠け」とはそれだけではないようです。仏教では、もしもあなたが褒められるために勉強や仕事をしているのであればそれは「怠け」であると考えることがあります。また仕事や勉強を毎日真面目にしていたとしても、それがワンパターンであり、日々向上していないものであればそれも「怠け」と考えるのです。そういう視点で振り返ってみれば、私たちの日々の生活の中には「怠け」に繋がるきっかけがたくさん潜んでいるのです。

怠けてしまわないようにするためにも、善い望み、希望を持つことです。しっかりとした希望があれば、それに向かって努力する姿勢は揺るぎないものになります。みなさんがしっかりとした希望を持っているかどうか。これはとても大切なことなのです。あなたの希望。今だからこそじっくり考えてみてください。新しい年が始まりました。皆さんの頑張り、努力に期待しています。

○ 1月の主な行事予定 ○

10日(火) 3学期始業式	25日(水) 1・2年実力テスト
11日(水) 給食開始 自転車点検	28日(土) 漢字検定 申込者のみ
17日(火) 生徒会朝会	お知らせ
18日(水) 避難訓練	2月4日(土)の第3回学校公開日に学校運営協議会の開催を予定しています。傍聴を希望される場合には本校教頭までご連絡ください。
19日(木) 2年生立志の会	

望みには善いものと悪いものがあります

- | | |
|--|------------------------|
| •希望
みんなを幸せに
してあげたい
社会をもっと
豊かにしたい | •欲望
楽をしたい
贅沢をしたい |
|--|------------------------|

怠け(なまけ)にはいろいろあります

- | | |
|-------------------|-------------------|
| •努力しないこと | •褒められようと
すること |
| •頑張らないこと | •向上させようと
しないこと |
| •やるべきことを
しないこと | |

皆さんはどちらの社会がいいですか

- | | |
|----------------|----------------|
| •希望に
あふれる社会 | •欲望に
あふれる社会 |
|----------------|----------------|